

首都圏新都市鉄道株式会社

代表取締役社長 柚 木 浩 一 様

東京駅延伸等に係る要望書

つくば市

つくばみらい市

守谷市

柏市

三郷市

八潮市

荒川区

流山市

つくばエクスプレスについては、開業以来、毎年、利用客数は増加を続け、当初計画を上回る実績を上げていることは、貴社の安全運行と利便性向上に対する多大な努力の賜物とお礼申し上げます。

今年度は、4月20日に交通政策審議会から国土交通大臣に対し、「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」の答申が提出され、国際競争力の強化に資する鉄道ネットワークのプロジェクトとして、つくばエクスプレスの東京駅延伸が位置づけられています。

貴社は、平成27年度を初年度とした3年間の「中期経営見通し」を示しており、平成27年度の1日平均乗車人員を32万6千人と見込んでいますが、実績では34万人と、予測を大幅に上回っています。

このような状況を踏まえますと、沿線自治体としましても、鉄道経営の安定化を第一義と考えることは勿論ですが、つくばエクスプレスの将来的に持続可能な発展を目指して、「東京駅延伸」や「車両編成の8両化」について、具体的な事業費や需要予測、費用便益等の調査を実施し、費用対効果の検証を進めるべき段階であると思われます。

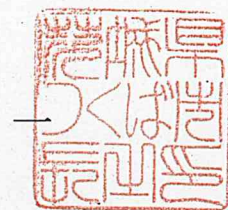
また、答申において「関係地方公共団体・鉄道事業者等において、事業計画の十分な検討が行われることを期待」と記載されていることから、貴社と沿線自治体が一体となって調査を行うべきと考えております。

沿線自治体としましては、今後更に沿線の整備を進め、より魅力ある街づくりを推進し、鉄道利用者の増加に寄与するために鋭意努力してまいります。

つきましては、貴社と沿線自治体全体の発展の為に、「東京駅延伸」と「車両編成の8両化」の2つの事項についての具体的な調査等に向けて、貴社と沿線自治体間の相互理解が得られるよう、意見交換や協議を行う場を設けていただけるよう強く要望いたします。

平成28年6月28日

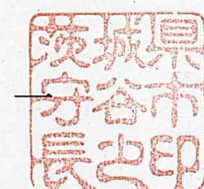
つくば市長 市原 健



つくばみらい市長 片庭 正



守谷市長 会田 真



柏市長 秋山 浩



三郷市長 木津 雅



八潮市長 大山



荒川区長 西川 太一郎



流山市市長 井崎 義



1000

1000

1000

1000

1000

1000

1000

1000

1000

1000

1000

1000

1000

1000

1000

1000

1000

1000

1000

1000

1000

1000

1000

1000

1000

1000